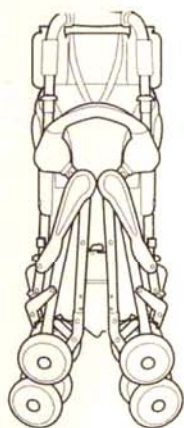


- ・ ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ・ また、本書は大切に保管してください。
- ・ 取りはずしてある部品は、本書をよく読んで取り付けてください。
- ・ 本品を他のお客様にお譲りになるときは、必ず本書もあわせてお渡してください。

箱の中には次のものが入っています。箱を開けたら全て揃っているか確認してください。



ベビーカー本体



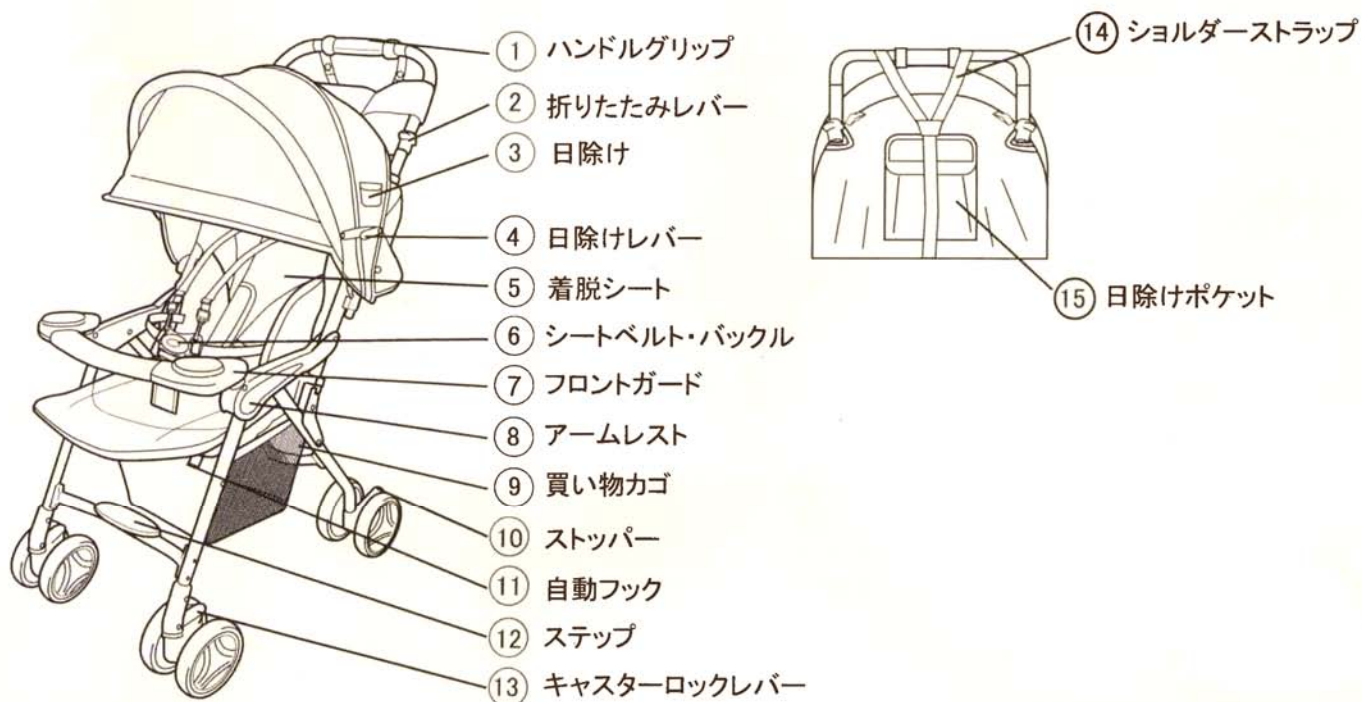
日除け



ボトル・ホルダー

取扱説明書  
保証書

(本書)



## <ご使用の前に>

- この製品は、一般家庭で乳幼児を乗せ、外気浴、日光浴、買い物などに使用するための1人乗り乳母車（ベビーカー）です。
- 対象：乳幼児の首がすわってから（通例、生後4～5ヶ月）から満2歳頃まで。  
（背もたれの傾斜角度が浅いので、新生児へのご使用はお勧めしません。）
- 望ましい連続試用期間：1時間以内



### 警告 取り扱いを誤ると重大な事故につながるおそれがあります。

- 階段、エスカレーター、段差のあるところ、また、砂場/砂浜/河原/ぬかるみなどの悪路では使用しないでください。
- 乳幼児を乗せたままフロントガードを持つなどしてベビーカーを持ち上げないでください。手がすべったり、フロントガードがはずれたりするおそれがあります。
- シート・ベルトを必ず締めてください。
- 乳幼児をベビーカーの中で立たせないでください。
- 乳幼児を乗せているとき、カゴ以外の所に荷物を乗せたり、つるしたりしないでください。
- ベビーカーに同時に2人以上の乳幼児を乗せたり、乳幼児をシート以外の所に乗せないでください。
- ご使用中にハンドルに寄りかかったり、過度の荷重をかけないでください。
- ベビーカーは空車であっても坂の途中/車道に近い歩道上など危険な場所に放置しないでください。
- 乳幼児や荷物をのせたときには、ストッパーを過信しないでください。
- 乳幼児を乗せたまま、ベビーカーから離れないでください。
- シートを取りはずしたまま乳幼児を乗せないでください。転落するおそれがあります。
- 乳幼児を乗せる以外の目的で使用しないでください。目的外の使用では破損などのおそれがあります。
- 危険ですからむやみに改造、分解しないでください。
- ご使用前に、ネジやリベットにゆるみがないか確認してください。
- 乳幼児がベビーカーの側方から乗り出さないようにご注意ください。ベビーカーが不安定になり、転倒のおそれがあります。
- 危険ですので、買い物カゴおよびボトルホルダーに過度の質量の荷物を入れないでください。  
（積載限度質量：カゴは5kgまで、ボトルホルダーは1kgまで。）
- 窒息などの危険を避けるために、ベビーカーをご使用になる前に全ての梱包材（ビニール袋など）を完全に取り除いてください。
- ベビーカーをご使用になる際は、通常の歩行の速度で押すようにしてください。
- 誤まった方法でのご使用や取り扱いについてのご理解不足は、乳幼児および保護者の身体にとって危険であると同時に、ベビーカーを破損する可能性があります。

**！ 注意** 取り扱いを誤ると障害を負ったり、ベビーカーが破損するおそれがあります。

● バスの中では使用しないでください。

本製品はバスの中で使用することを目的として設計されたものではありません。本製品をバスの中で使用すると、カーブや急ブレーキなどで転倒や思わぬ事故につながります。

● 電車の中での使用について

本製品は電車の中で使用することを目的として設計されたものではありません。お客様の責任により本製品を電車の中で使用するときは、カーブや急ブレーキなどで転倒するなどのおそれがありますので、必ずストッパーをかけて、十分注意してご使用ください。

- 本製品は、USA向けベビーカーと共通仕様で、製造されています。その為、日除けなどにUSA向け部品も一部装着されていますが、ベビーカーをご使用になるうえでは支障はございません。  
ご不明な点は、当社お客様相談室に、お問い合わせください。

### 本体の開きかた

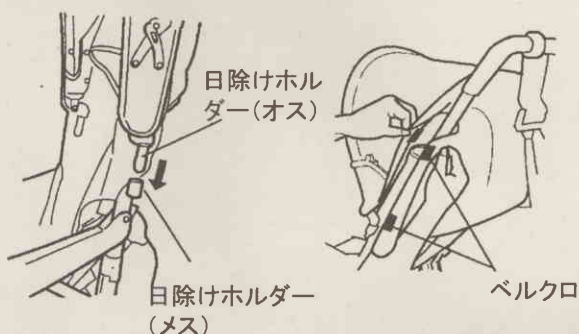


自動フック



1. 自動フックを上押し上げてはします。
2. 自動フックがはずれたら、ハンドルグリップを握り手首を外に回して開きます。グリップを逆手で持つと操作が楽です。
3. ハンドルグリップを持ち上げるようにしますと本体が開きはじめます。

### 日除けの取り付け/取りはずしかた



#### 注意

日除けホルダーを確実に取り付けないと折れ曲がる場合があります。保管の際には、日除けの変形を防ぐため横向きに寝かせたり、上に荷物を重ねたりしないでください。

#### 日除けの取り付けかた

1. 日除けが正しい向きを向いていることを確認してください。
2. 日除けホルダー(プラスチックの部品)のオスを日除けホルダーのメスに完全に差し込んでください。
3. 日除けの左右両側のベルクロを留めてください。

#### 日除けの取りはずしかた

1. ベルクロを外してください。
2. 幌ホルダー(オス)の下端をすぼめるようにつまんでから、引き抜いてください。

COMBI



## キャスターの使いかた



キャスターロックレバーを上げると、ロックします。

キャスターロックレバーを下げると、ロックは解除します。

## ストッパーの使いかた



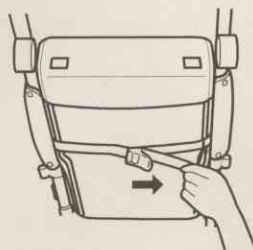
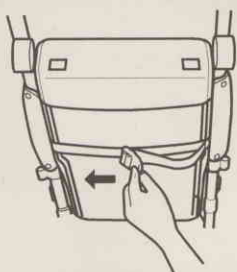
ストッパーを下げると、ロックします。

### 注意

ベビーカーを軽く前後に動かして、ストッパーが正しくかかっているか確認してください。

ストッパーを上げると、ロックは解除します。

## リクライニングの使いかた



### 注意

ベビーカーを押しながらリクライニング操作をしないでください。非常に危険です。

お子さまを乗せたまま操作するときは、急にリクライニング角度が変わらないように十分ご注意ください。

ベルトの端部(二重に折り返してある部分)をバックルからはずさないでください。

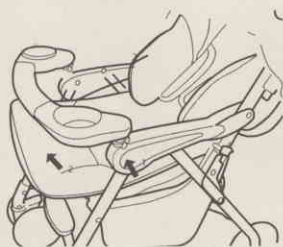
### 背もたれを倒すとき

ベルトについているバックルをつまみ、左にずらしします。

### 背もたれを起こすとき

ベルトの端をつまみ、右に引っばります。

## フロントガードの使いかた



### 取りはずしかた

フロントガードの根元にあるボタンを押し込み、フロントガードを上へ引上げます。

両側のボタンを解除すれば、フロントガードを取り外すことができます。



### 取り付けかた

ガードの裏面の穴をアームレストのピンの位置に合わせ、カチッと音がするまで押し込みます。

片側のみを外しガードを前方に回転させると、お子さまの乗せ降ろしが楽にできます。

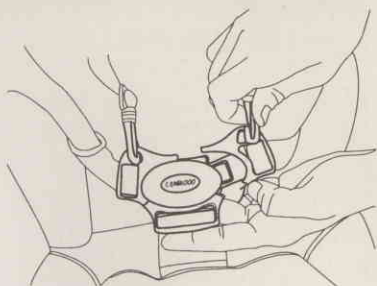
### 注意

お子さまがベビーカーに乗っているときには、必ず前方にガードを回転させてください。



COMBI

## シートベルト(股ベルト・腰ベルト・肩ベルト)の使いかた



### 警告

落下や滑り落ちによるケガを避けるために、必ずシートベルトを着用してください。

### 注意

シートベルトを着用しているときでも、お子さまが滑り落ちたり、立ち上がったりにしないように十分ご注意ください。

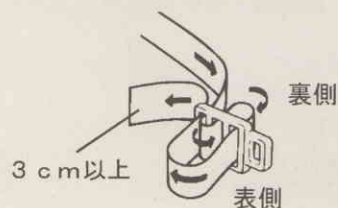
### 装着のしかた

1. お子さまの足の間に股ベルトを通します。
2. 左右の腰ベルトバックル（オス）を股ベルトのバックル（メス）に差し込みます。
3. 肩ベルトのフックを腰ベルトバックル上部の穴に引っかけます。
4. お子さまが抜け出さないように、ベルトの長さを調節してください。

### 取りはずしかた

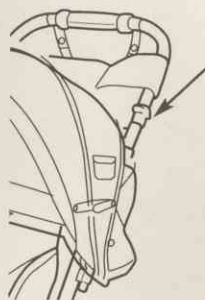
はずすときは股ベルトのバックルボタンを押すと左右の差し込みバックルがはずれます。

＜シートベルトの長さ調節のしかた＞  
ベルトの長さは下の図のように調節します。  
端末まで腰ベルトは3 cm以上余裕をもたせてください。



## ベビーカーの折りたたみかた

1. 買い物カゴ、ボトルホルダーおよび日除けポケットの中の荷物を取り出します。
2. キャスターをロックし、日除けを折りたたみます。
3. 背もたれを最も起こした状態に調節します。
4. ハンドルの左右にある折りたたみレバーを引き上げたまま、後車輪を支点にして矢印方向に後に倒すと2面折りが出ます。
5. 折りたたみレバーから手を離し、左右のハンドルグリップを内側に折ると、自動フックがかかり3面折りになります。

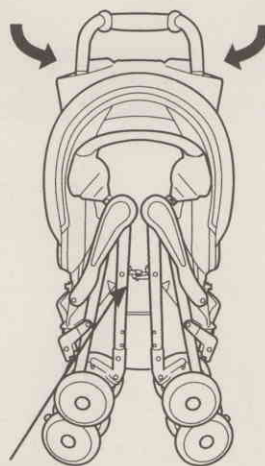


折りたたみレバー



折りたたみレバーを引き上げたまま、後車輪を支点にして矢印方向に後に倒す

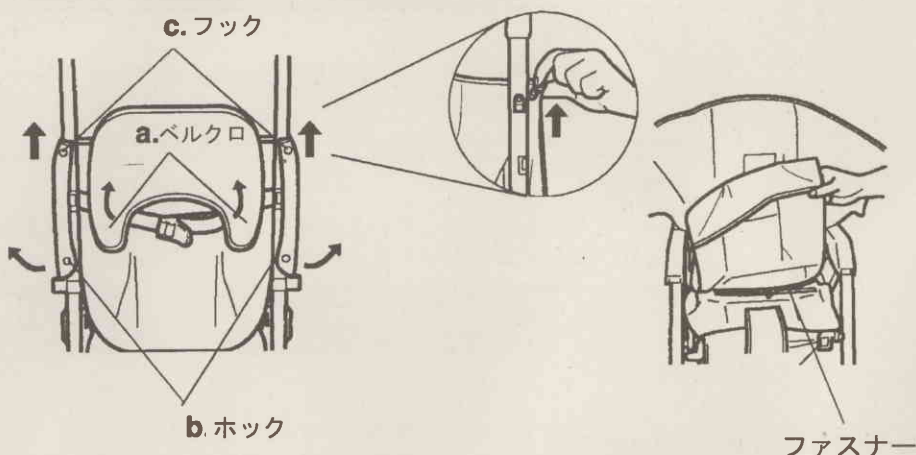
左右のハンドルグリップを内側に折る



自動フック

COMBI

## 着脱シートの取り扱いかた



### 警告

1. やぶれやほつれの発生したシートはそのまま使用しないでください。中のワタをお子さまが飲み込んだり、シート本来の機能が果たせなくなるおそれがあります。
2. シートを取り付けの際に、ファスナー、ホック類を確実にセットしてください。取り付けが不完全ですとケガや破れなどの原因となります。
3. シートクッション無しでのご使用はおやめください。

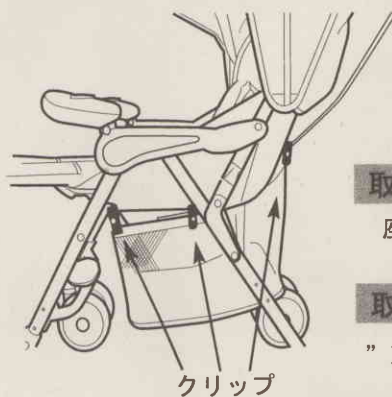
### 取り外しかた

1. 股ベルトのバックルから腰ベルトの左右差し込みバックルをはずします。
2. シート裏面とベース座面をとめているファスナーをはずします。
3. ベルクロ (a) をはずします。
4. ハンドルパイプ左右2カ所のホック (b) をはずします。
5. フック (c) を上に引き抜いて、シートをはずします。  
(洗濯の際は背板を抜き取ってください。)

### 取り付けかた

1. 洗濯をした際はあらかじめ背板をシートに入れます。
2. "取り外しかた" の逆の手順で取り付けます。

## 買い物カゴの取り扱いかた



### 取り外しかた

座面下のクリップを取り外します。

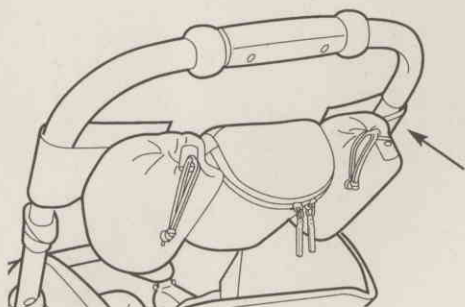
### 取り付けかた

"取り外しかた" の逆の手順で取り付けます。

### 注意

1. 5kg以上の荷物はのせないでください。破損の原因となります。
2. 角のとがったものや、カゴからはみ出す容積の大きいものはいれないでください。カゴの変形および破れの原因となります。
3. ベビーカーを折りたたむときは、荷物を取り出してください。ベビーカーの破損や荷物のつぶれの原因になります。

## ボトルホルダーの取り扱いかた



### 注意

1. やけどをする危険がありますので、ボトルホルダーには熱い飲み物の入った容器を入れないでください。
2. 1kg以上の荷物を入れないでください。
3. ベビーカーを折りたたむときは、荷物を取り出してください。

### 取り付けかた

ボトルホルダーに付いているフックをハンドルに付いているスロットに引っ掛け、ベルクロをハンドルに巻きつけます。

### 取り外しかた

"取り付けかた" の逆の手順で取り外します。

COMBI



## 日常のお手入れ

- 涼しく乾燥している場所に保管してください。特に、夏季には車のトランクの中は高温になることがありますので、長時間放置しないでください。
- シートクッションの洗濯（シートは丸洗いできますが、以下の点にご注意ください。）
  - ・ 背板はあらかじめ抜き取ってください。また、シートの洗濯表示に従って洗濯してください。
  - ・ 洗濯機を使用する場合は40℃以下の液温で、弱水流で洗ってください。
  - ・ 通常の洗濯用洗剤が使用できますが、漂白剤や漂白剤入りの洗剤は使えません。
  - ・ 長時間つけ置きせず、短時間で洗い上げてください。色落ちの原因となります。
  - ・ 十分すすぎ、軽く脱水した後、形を整えて平干ししてください。
  - ・ 乾燥機の使用やドライクリーニングはできません。※製品の特性上若干色あせすることがあります。
- 日除け、シートベルト、買い物カゴの洗濯
  - ・ ブラシやスポンジなどを使用し40℃以下の液温で手洗いしてください。
  - ・ 洗剤を使用した場合は、水を含ませた布やスポンジで洗剤分が残らないように数回ふき取ってください。
  - ・ 乾かすときは、乾いた布で水分をふき取り、陰干ししてください。※製品の特性上若干色あせすることがあります。
- 車体の清掃
  - ・ 車輪やプラスチック部品及び金属部品の汚れは、水を含ませよくしぼった布でふき取ります。
  - ・ 汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を含んだ布でふいた後、水を含ませよくしぼった布でふき取り、洗剤分が残らないようにします。※車体の清掃には中性洗剤以外は使用しないでください。部品の変質、劣化の原因となります。
- 車輪
  - ・ 長期間のご使用により車輪の周辺に泥や汚れなどが堆積すると、動作が鈍くなったり、異音を発生したりする場合があります。そのような場合は、ブラシや布などで汚れを拭き取った後、シリコン・スプレーを少量お使いください。
  - ※洗剤や水を使用しないでください。
  - ※潤滑剤として食用油などはご使用にならないでください。かえってほこりが付きやすくなり、機能を低下させます。

## 困ったときは

- ベビーカーが折りたたまない
  - \* シートベルトが車体のフレームにからまっていますか？
  - \* 前輪キャスターがきちんとロックされていますか？
  - \* 背もたれが最も起き上がった状態になっていますか？
  - \* カゴや日除けポケットの中に荷物が入っていませんか？
- ベビーカーを押しにくい/押していると片側に寄ってしまう
  - \* ハンドルにかけている荷物を全て下ろしてください。
  - \* カゴの中の荷物が片側に偏っていませんか？
  - \* ブレーキは解除されていますか？
- 段差を乗り越えにくい
  - \* ベビーカーを無理に後方に引っ張ると段差を乗り越えにくくなり、危険です。後輪が段差の上にくるまでハンドルを持ち上げてからベビーカーを後方に引くようにしてください。

